

国語復習プリント漢文①（否定・使役・疑問・反語・感嘆の復習）

① 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 黄鶴<sup>タビ</sup>一<sup>リテ</sup>去<sup>リテ</sup>不<sup>タ</sup>復返<sup>ラ</sup>一。

② 人莫<sup>シ</sup>知<sup>ル</sup>之<sup>ヲ</sup>。

③ 無<sup>ク</sup>レ貴<sup>トク</sup>無<sup>レ</sup>賤<sup>ト</sup>、無<sup>ク</sup>レ長<sup>トク</sup>無<sup>レ</sup>少<sup>ト</sup>、

④ 両雄<sup>ハ</sup>不<sup>ニ</sup>俱<sup>ニハ</sup>立<sup>タ</sup>一。

⑤ 君莫<sup>カレ</sup>笑<sup>フコト</sup>。

⑥ 非<sup>ズ</sup>レ不<sup>ルニ</sup>説<sup>バ</sup>二子之道<sup>ヲ</sup>一、力不<sup>ル</sup>足<sup>ラ</sup>也。子…先生

⑦ 家貧<sup>シクシテ</sup>、不<sup>ニ</sup>常<sup>ニハ</sup>得<sup>レ</sup>油<sup>ヲ</sup>。

⑧ 魏王日聞<sup>ニ</sup>其毀<sup>ノリヲ</sup>一、不<sup>ハ</sup>能<sup>ルコト</sup>不<sup>レ</sup>信<sup>ゼ</sup>。

⑨ 有<sup>ル</sup>レ功者不<sup>ハ</sup>得<sup>ルヲ</sup>不<sup>レ</sup>賞<sup>セ</sup>。

⑩ 天之所<sup>レ</sup>覆<sup>フ</sup>、無<sup>シ</sup>非<sup>ザルハ</sup>二朕臣<sup>ニ</sup>一。

② 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 我令<sup>ム</sup>二<sup>ヲシテ</sup>人<sup>ヲ</sup>求<sup>メ</sup>レ之<sup>ヲ</sup>。

② 吳遣<sup>ハシテ</sup>將救<sup>ヲハシムヲ</sup>之<sup>ヲ</sup>。

③ 田乞<sup>ム</sup>使<sup>ヲシテ</sup>三<sup>ニ</sup>人<sup>ヲ</sup>之<sup>キ</sup>魯<sup>ニ</sup>、迎<sup>ヘ</sup>二陽生<sup>ヲ</sup>一。田乞・陽生…ともに人名

③ 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 王欺<sup>カル</sup>二於張儀<sup>ニ</sup>一。張儀…人名

② 襄公為<sup>ル</sup>二弟無知<sup>ノト</sup>所<sup>スル</sup>一弑<sup>スル</sup>。

③ 吾昔謫<sup>セラル</sup>二黃州<sup>ニ</sup>一。

④ 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 仲父<sup>クンソ</sup>安<sup>ル</sup>識<sup>ル</sup>之<sup>ヲ</sup>。仲父…人名

② 誰加<sup>カフル</sup>レ衣<sup>ヲソ</sup>者<sup>ヲ</sup>。

③ 趙衰趙盾、孰<sup>レカ</sup>賢<sup>ナル</sup>。趙衰・趙盾…ともに人名

④ 蛇今安<sup>クニカ</sup>在<sup>ル</sup>。

⑤ 城中何如<sup>ハ</sup>。

⑥ 為<sup>スコト</sup>之<sup>ヲ</sup>如<sup>セン</sup>何<sup>セン</sup>。

⑦ 為<sup>スハ</sup>レ政<sup>ヲ</sup>、如<sup>ヲ</sup>レ之<sup>セン</sup>何<sup>セン</sup>。

⑧ 年幾何<sup>ソ</sup>。

⑤ 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 豈愛<sup>ニシマン</sup>レ桃<sup>ヲ</sup>哉<sup>ヲ</sup>。

② 父子恩<sup>ノハ</sup>、何敢<sup>ソヘテ</sup>忘<sup>レンヤ</sup>。

③ 得<sup>ン</sup>レ為<sup>スヲ</sup>レ孝<sup>ヲ</sup>乎<sup>ヲ</sup>。

④ 臣敢<sup>ヘテ</sup>不<sup>ランヤクサ</sup>レ尽<sup>レ</sup>力<sup>ヲ</sup>。

⑤ 相如雖<sup>モ</sup>驚<sup>ナリト</sup>、独畏<sup>リレン</sup>二廉將軍<sup>ヲ</sup>一乎。驚…のろい・相如…人名

⑥ 若非<sup>ハズ</sup>二吾故人<sup>ニ</sup>一乎。

⑥ 次の各文を書き下し文にし、口語訳しなさい。

① 嗚呼、哀<sup>シイ</sup>哉<sup>ヲ</sup>。

② 王將軍老<sup>イタル</sup>矣<sup>ニ</sup>、何怯<sup>ソナル</sup>也<sup>ヲ</sup>。

③ 有<sup>リ</sup>レ朋自<sup>リ</sup>二遠方<sup>ニ</sup>来<sup>タル</sup>、不<sup>ニ</sup>亦樂<sup>シカラ</sup>一乎。





国語復習プリント漢文① 解答

1

① 書き下し文 黄鶴一たび去りて復た返らず。

口語訳 黄鶴は一度飛び去って二度と帰らない。

② 書き下し文 人之を知る莫し。

口語訳 人は誰もこれを知らない。

③ 書き下し文 貴と無く賤と無く、長と無く少と無く、

口語訳 身分の高い者と低い者の区別なく、年をとった者と若い者の区別なく、

④ 書き下し文 両雄は俱には立たず。

口語訳 両雄はともに立たない。

⑤ 書き下し文 君笑ふこと莫かれ。

口語訳 あなたは笑わないでくれ。

⑥ 書き下し文 子の道を説ばざるに非ず、力足らざるなり。

口語訳 先生の（教えの）道を喜ばないのではない、力が足りないのである。

⑦ 書き下し文 家貧しくして、常には油を得ず。

口語訳 家が貧しく、いつも油を得られるとは限らない。

⑧ 書き下し文 魏王日に其の毀りを聞き、信ぜざること能はず。

口語訳 魏王は毎日その悪口を聞いて、（悪口を）信じずにはいられなくなった。

⑨ 書き下し文 功有る者は賞せざるを得ず。

口語訳 功績のあるものは賞を与えないわけにはいかない。

⑩ 書き下し文 天の覆ふ所、朕が臣に非ざるは無し。

口語訳 天が覆うところ（＝天下）で、私の臣下でないものはない。

2

① 書き下し文 我人をして之を求めしむ。

口語訳 私は人にこれを求めさせる。

② 書き下し文 呉将を遣はして之を救はしむ。

口語訳 呉は將軍を派遣してこれを救援させた。

③ 書き下し文 田乞人をして魯に之き、陽生を迎へしむ。

口語訳 田乞は人に魯に行かせ、陽生を迎えさせた。

3

① 書き下し文 王張儀に欺かる。

口語訳 王は張儀にだまされた。

② 書き下し文 襄公弟無知の弑する所と為る。

口語訳 襄公は弟の無知に殺された。

③ 書き下し文 吾昔黄州に謫せらる。

口語訳 私は昔黄州に左遷された。

① ❷ 書き下し文 仲父ちゆうほう安いづくんぞ之これを識しる。

口語訳 仲父はどうしてこれを知ったのか。

② 書き下し文 誰たれか衣ころもを加くはふる者ものぞ。

口語訳 誰が服をかけてくれたのか。

③ 書き下し文 趙衰てうしえうとん趙盾てうしとん、孰いづれか賢けんなる。

口語訳 趙衰と趙盾では、どちらが賢いのか。

④ 書き下し文 蛇へび今いま安いづくにか在ある。

口語訳 蛇は今どこにいるのか。

⑤ 書き下し文 城じやうちゆう中ちゆうは何如いかん。

口語訳 城の中はどのようなか。

⑥ 書き下し文 之これを為なすこと如何いかんせん。

口語訳 これをするにはどうすればよいか。

⑦ 書き下し文 政まつりごとを為なすは、之これを如何いかんせん。

口語訳 政治を行うには、それをどうすればよいか。

⑧ 書き下し文 年幾としいくばく何ぞ。

口語訳 年齢はどれくらいか。

① ❸ 書き下し文 豈あに桃ももを愛をしまんや。

口語訳 どうして桃を惜しむだろうか（いや、惜しまない）。

② 書き下し文 父子ふしの恩おんは、何ぞ敢あへて忘れわすれんや。

口語訳 親子の恩義は、どうして忘れようとするだろうか（いや、忘れようとはしない）。

③ 書き下し文 孝かうを為なすを得えんや。

口語訳 （死んでは）親孝行を行うことができるだろうか（いや、できない）。

④ 書き下し文 臣敢しんあへて力ちからを尽つくさざらんや。

口語訳 私はどうして力を尽くそうとしないことがあるでしょうか（いや、力を尽くそうとするでしょう）。

⑤ 書き下し文 相如そうじよど驚いへなりと雖いへも、独ひとり廉将軍れんしやうぐんを畏おそれんや。

口語訳 私（＝相如）はのろみではあるが、どうして廉將軍を恐れるだろうか（いや、恐れない）。

⑥ 書き下し文 若なんぢは吾わが故人こじんに非あらずや。

口語訳 あなたは私の旧友ではないか（旧友だろう）。

① ❹ 書き下し文 嗚呼ああ、哀かなしいかな。

口語訳 ああ、悲しいなあ。

② 書き下し文 王将軍わうしやうぐん老おいたるかな、何ぞ怯けふなるや。

口語訳 王將軍は老いたなあ、なんと臆病なことよ。

③ 書き下し文 朋有ともあり遠方えんぱうより来きたる、亦また樂たのしからずや。

口語訳 遠くから来る友人がいる、なんと楽しいではないか。